

編集後記

2年間の和文誌編集委員が終わりました。一緒に委員を務めた皆様、お疲れ様でした。委員長、事務局の皆様、大変お世話になりました。新任委員を快諾いただいた皆様には心よりお礼申し上げます。

さて、任期を終えた私は、坂本先生(現委員長)、荻野先生(幹事・同期)と共に、国際会議 ICPIG で札幌に来ております。委員の業務は大変ですが、利点として編集委員を通じて多くの先生と繋がりが持てるということが挙げられます。実際学会等で編集委員時代に知り合った先生のご発表を聞き、なるほどこういうご研究をされているのかと、とても勉強になります。以前であれば聞いてもこちらの知識不足で勉強になるところまで届かなかったと思います。委員会で企画提案される記事を、広く通じる内容にするにはどうするか、すったもんだの議論を繰り返したおかげで、異分野の研究者の視点や価値観を理解できたのでしょう。

ところで、この異分野という言葉は、一つの学会内で使うには当初から違和感があります。個人的に天文学や生物学との共同研究に携わる機会があったからかもしれませんが、第三者から見たら、プラズマ・核融合学会という一つの学会なのだから一つの分野でしょう、というのが科研費改革での領域変更にも繋がりそうです。一方で、企画提案記事の内容を委員会で議論する際には、まさに異分野というギャップを感じるのも事実です。学会内の交流と競争を活性化する、そんな学会誌になって欲しいと思います。私自身も研究活動を通じてそのような役目を担っていければと思います。(伊藤篤史)

2018年7月から本学会誌の発行幹事を務めてまいりましたが、先日の新旧合同編集委員会を終えホッとすると同時に、毎月恒例のプラ核編委・名古屋出張が無くなり寂しく感じています。至らない点もありましたが、何とか1年間終えることができたのは編集委員の皆様、ならびに学会事務局の皆様のお力添えがあってのことです。この場をお借りして御礼申し上げます。浜松から名古屋へは、ひかりで30分ほどですが、こたまでゆっくり通うこともしばしばありました。学生の頃は、どこに行くにしても移動時間を持て余すことが多かったのですが、今はそこそまとまった時間が取れる新幹線移動に満足しています。歳をとり時間が経つのが早く感じるようになったことと快適な新幹線のおかげです。先日、20数年ぶりにお会いした高校時代の恩師と少し長めの移動について話す機会があり、「知足者富(足るを知る者は富む)」ということですかねー?というやりとりをしました。また、便利さを実現してくれる科学技術の進歩を歓迎する一方で、便利さと消費することのみを追求するサイクルの中に人間が埋没してしまうと、人間にとっての不幸をもたらすことになるのではないかと、この言葉もあり心に残りました。老子の言葉「知足者富」には続きがあり「強行者有志(つとめて行う者は志有り)」、志を持って努力を続けよ、とあります。限られた資源を賢く使うことのできる社会の一助となれるよう励みたいと思います。(荻野明久)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	森 雅博		
副 会 長	豊田浩孝 (推薦委員長: 学会賞, 男女共同参画委員長)	竹入康彦 (推薦委員長: 研究助成, 研究部会連絡会委員長)	
常務理事	下妻 隆 (総務委員長)		
理 事	浅野史朗 荒巻光利 大野哲靖 (企業展示検討委員長)	岸本泰明 (年会運営委員長)	
	木戸修一 (財務委員長)	小西哲之 坂本瑞樹 (編集委員長)	
	齊藤輝雄 篠原孝司 神野雅文 (企画委員長)		
	中井光男 長谷川晃 (広報委員長, 支部・地区研究連絡委員長)		
	和田 元 渡邊隆行		
監 事	利根川昭, 中村圭二		

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 豊田浩孝 核融合プラズマ 大野哲靖 核融合炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 坂本瑞樹(筑波大) 副委員長: 荒巻光利(日大)
エディタ: 酒井 道(滋賀県立大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 城崎知至(広島大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)
編集委員: 浅井朋彦(日大), 有川安信(阪大), 池添竜也(九大), 諫山明彦(量研), 今寺賢志(京大), 岩田夏弥(阪大), 宇佐見俊介(核融合研), 大塚哲平(近畿大), 小川大輔(中部大), 乙部智仁(量研), 小柳津誠(量研), 桑原大介(中部大), 栗田弘史(豊橋技科大), 小林 誠(核融合研), 齊藤誠紀(山形大), 齊藤晴彦(東大), 清水鉄司(産総研), 高橋和貴(東北大), 竹田圭吾(名城大), 田中宏彦(名大), 辻村 亨(核融合研), 時谷政行(核融合研), 松下恭子(東京理科大), 森田太智(九大), 安原 亮(核融合研), 山田大将(長野高専), 吉田雅史(山口大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第95巻第8号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2019年(令和元年)8月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。